

平成18年度 仏教テレフォン相談 統計分析表

平成18年6月1日～平成19年5月31日

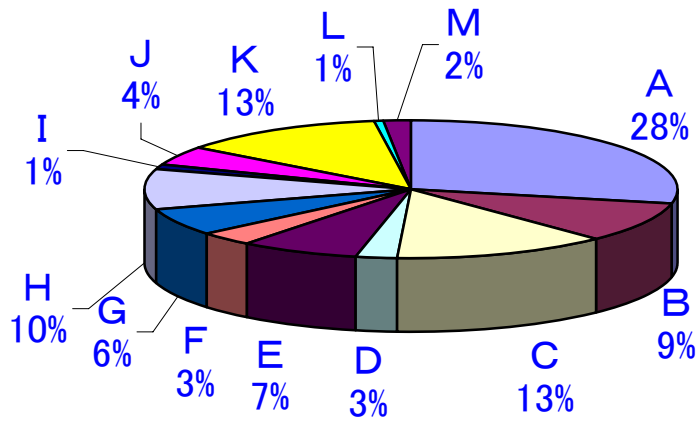
[24年目]

相談開室日数	218日
相談者数	3,631人
1日平均相談者数	16.7人
相談総件数	4,410件
1日平均相談数	20.2件

大分類

	(件)	前年度比
A 人生相談	1,255	+9.1%
B 信仰の意味、教義、仏教文化や学問	412	-9.2%
C 葬儀、法要、供養、永代供養	576	-3.8%
D 戒名・法名	112	-26.8%
E 寺院・僧侶・既成教団の在り方や運営	321	-16.2%
F 仏教の年間行事、特殊法要	138	-9.8%
G 家庭での祀り方やお勤め	281	+1.4%
H 仏事の常識やマナー	424	-5.6%
I 既成寺社の祈願・祈祷	41	+24.2%
J 占い、迷信、靈感・霊視商法（既成仏教以外のこと）	198	+22.2%
K お骨・埋葬、墓地・墓石	553	+0.4%
L ペット・針・人形などの供養	24	-17.2%
M その他、時事問題や仏教以外の行事など	75	+4.2%
	4,410	-4.2%
N 行政機関やマスコミからの問い合わせ	56	+194.7%

平成18年度相談項目大分類

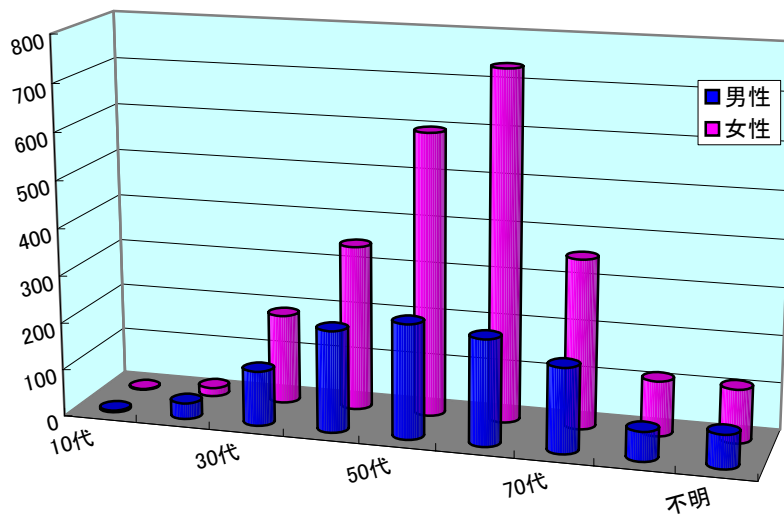


男女比

男性 31.6%

女性 68.4%

	男性	女性
10代	4	2
20代	34	18
30代	116	190
40代	215	350
50代	242	599
60代	224	738
70代	179	358
80以上	62	116
不明	71	113
合計	1,147	2,484



分析結果の概要

最近のテレビでは、子供が見ている時間帯に、悪口な占い師や霊能者と名乗る人達がタレントの未来を占ったりして、一喜一憂する様子を放映している。そのせいか、この一年、占いや霊能に関する相談が増えた。

テレビの影響力は大きく、霊能者や占い師の話を利用する人は多い。意識無意識に係わらず、その人達の言う事を実践しているケースも多い。ある意味で、ソフトな洗脳でもある。人はなぜ、占いや霊能に頼るのだろうか。それは、自分の生き方に自信がないからだ。生きてると、良い事も悪い事もある。人は弱いから、そういったことに心を揺さぶられる。揺さぶられると不安になる。そこで何かに頼る。その頼るものが占いや霊能といった類のものが多い。

お釈迦様は占いや霊能を否定している。なぜかといえば、今日の生き方によって明日が変わるからである。今日、良い生き方をすれば、明日以降に必ずその結果が出る。いくら占ってみたところで、自分が変わらない限り良い人生はやってはこない。

目に見えない明日におびえるのではなく、今日をしっかり生きていく心の柱を持つことの方が大切である。 仏教テレフォン相談を通じてお釈迦様の教えを心の柱にして頂きたい。